



表紙のことは

1月11日、浅羽北公民館で浅羽方言かるた大会が行われました。

浅羽方言かるたは、読み札の文に浅羽地域の方言がたっぷり使われている、地域の温かみあふれる楽しいかるたです。

大会には、地域の親子など50人が参加。参加した皆さんは、読み札が読み上げられると、真剣な表情で絵札を探し、素早く手を伸ばしていました。

市民の動き

人口/87,118人 (前月比+38人)

(外国人登録者4,225人含む)

男性/43,938人 (前月比+4人)

女性/43,180人 (前月比+34人)

世帯数/30,812世帯 (前月比-13世帯)

平成21年1月1日現在

110番・119番

平成20年12月1日～31日

交通事故件数	80件(-3件)
交通事故死者数	0人(±0人)
交通事故負傷者数	109人(±0人)
火災件数	3件(-1件)
救急出動件数	219件(-4件)

カッコ内は前年同月比較



2009年(平成21年)2月1日発行 第93号

編集・発行/
袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1

TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

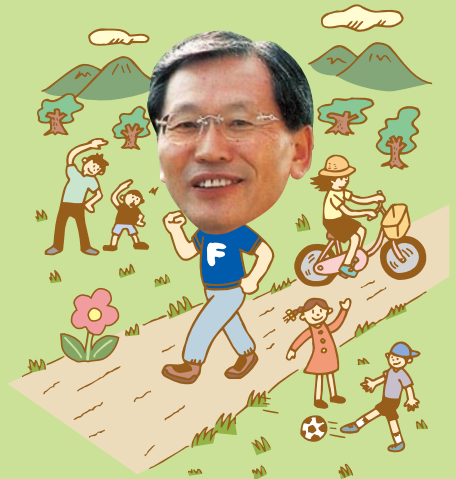
【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

原田市長の

さんぽみち

散歩道



NPOなどの市民団体が集う場所「ふらっと」が出来てから2年半が過ぎた。初めのころは、人が集まっているか否か心配で、前を通る度にのぞいていたが、今では53団体の登録があり、室内に伝言メモやイベントのお知らせが所狭しとはられていて、いつも活気に満ちている。協働まちづくりセンターの成功例として、他市からの見学者も多いと聞く。

先日、久しぶりに「ふらっと」で運営委員会の皆さんと話し合いをした。活動が多岐にわたっているため、話題もいろいろでしたが、ここでは景気が悪くなって特に困る人たちが「ブラジル人の子どもたちと障害者」をめぐってのことを紹介させていただく。

入学校から市立の小・中学校への転校が増えている。受け入れる学校では、言葉の不自由な生徒が多くなると1人の先生では手が回らなくなつて、十分な授業ができず困っている。このため、入校前のブラジル人の子どもたちに日本語を教えることが必要で、市では日本語支援教室を持つことにした。しかし、日本語の上達期間は子どもごとに違うので、それぞれに応じたきめ細かい体制が必要で、このため、市民の皆さんの協力をお願いしたい状況になっている。

企業の仕事が減ると、障害のある方が通う授産所や作業所の仕事は

「ふらっと」に集う人々

もつと減つて、今でも少ない手取り月5万円〜2万円くらい)がさらに少なくなるし、運営も難しくなってくる。障害者にとっては、働くことが社会参加の意味でも、一日を有意義に過ごすためにも、大変重要である。今後、市内の企業にさらに協力を依頼するとともに、市の仕事も点検して、こうした施設にお願いすることも配慮しなければいけない。

災害時や不況時には、弱い人の立場で考えることが必要だが、うれしいことに「ふらっと」に集う人々には、すでにそれが出来ていると感じた。日ごろの活動が実践的で、多くの回数を重ねているからである。

これからの「協働」の時代に、袋井市は大きな財産を持っていることを、この話し合いを通して改めて認識させていただいた。